

平成29年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉ポートアリーナ
条例上の設置目的	スポーツの振興及び文化の向上を図るため。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	トップスポーツのホームゲーム開催や競技スポーツの国際大会・全国大会の開催や、市民総体等の市民レベルの大会の開催の他、障害者スポーツ施策の展開における拠点等、市スポーツ施策の中心的役割を果たす。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	市スポーツ施策と一体となり、東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前キャンプ受入れや障害者スポーツ大会の受入れ、更には市内他施設において需要の吸収が困難な市民レベルの大会等の受入れを中心に行う。
制度導入により見込まれる効果	本施設は、国際的・全国的なトップスポーツのイベントや各種文化イベントの開催が可能な高水準の設備を備えた集客施設であるが、今後、東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本代表チームの事前練習会場及び強化拠点施設として想定されていることや、障害者スポーツ施策の更なる推進や他施設では吸収が困難な市民総体等の市民レベルの大会の優先的な受入れといった、市スポーツ施策の展開により、施設の効用を発揮することが大幅に制限されることで、収益性が低下することが予想される。 そのような状況下で、本施設の提供する市民サービスを低下させることなく、安定的、継続的な運営を行うとともに、市スポーツ施策と一体となった柔軟かつ弾力的な管理運営を期待する。
成果指標※	① 施設利用者数 ② スポーツ教室開催数
数値目標※	① 250,000人/年 以上 ② 20教室/年 以上
所管課	市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市スポーツ振興財団
構成団体 (共同事業体の場合)	
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区問屋町1番20号
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日(5年)
選定方法	非公募
非公募理由	千葉ポートアリーナについては、東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本代表チームの事前練習会場及び強化拠点施設として想定されていることや、障害者スポーツ施策の更なる展開により施設利用が大幅に制限され、民間事業者の創意工夫による効用の発揮、収益拡大は見込めない。 現在の指定管理者である千葉市スポーツ振興財団は、収益を目的としない公益財団法人であり、市の施策実現のために設立された外郭団体であることから、市と一体となった効果的・効率的な施策の実施や、柔軟かつ弾力的な対応が可能となるため、非公募で選定する。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H29年度実績	達成率※
施設利用者数	260,000(250,000)	268,490	103.3%(107.4%)
スポーツ教室開催数	25(20)	25	100.0%(125.0%)

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	H〇年度実績

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
指定管理料	実績	172,326	163,872	実績－計画 △ 17,169	光熱水費単価値下がりによる指定管理料の戻入
	計画	189,495	184,976	計画－提案 △ 5,561	
	提案	195,056	184,976		提案時、消費税10%で計算
利用料金収入	実績	92,117	79,999	実績－計画 8,158	N T C利用料金収入の増加
	計画	83,959	83,865	計画－提案 0	
	提案	83,959	83,865		
その他収入	実績	0	0	実績－計画 0	
	計画	0	0	計画－提案 0	
	提案	0	0		
合計	実績	264,443	243,871	実績－計画 △ 9,011	
	計画	273,454	268,841	計画－提案 △ 5,561	
	提案	279,015	268,841		

イ 支出

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
人件費	実績	64,201	62,735	実績－計画 △ 1,420	給与改定、定期昇給等。
	計画	65,621	63,489	計画－提案 △ 1,863	
	提案	67,484	63,489		提案時、消費税10%で計算
事務費	実績	75,077	67,089	実績－計画 △ 14,575	光熱水費単価の値下がりによる。
	計画	89,652	89,652	計画－提案 △ 1,637	
	提案	91,289	89,652		提案時、消費税10%で計算
管理費	実績	114,683	107,990	実績－計画 △ 3,498	入札差金等による減少
	計画	118,181	115,700	計画－提案 △ 2,061	
	提案	120,242	115,700		提案時、消費税10%で計算
委託費	実績			実績－計画 0	
	計画			計画－提案 0	
	提案				
その他事業費	実績			実績－計画 0	
	計画			計画－提案 0	
	提案				
本社費・共通費	実績			実績－計画 0	
	計画			計画－提案 0	
	提案				
合計	実績	253,961	237,814	実績－計画 △ 19,493	
	計画	273,454	268,841	計画－提案 △ 5,561	
	提案	279,015	268,841		

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H29年度	【参考】 H28年度
自主事業収入	実績	5,017	4,673
その他収入	実績	0	0
合計	実績	5,017	4,673

イ 支出

(単位：千円)

費目		H29年度	【参考】 H28年度
人件費	実績	388	438
事務費	実績	378	432
管理費	実績		
委託費	実績	67	248
使用料	実績		
事業費	実績	2,943	3,514
利用料金	実績	1,302	1,405
その他事業費	実績		
本社費・共通費	実績		
合計	実績	5,078	6,037

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H29年度	【参考】H28年度
必須業務	収入合計	264,443	243,871
	支出合計	253,961	237,814
	収支	10,482	6,057
自主事業	収入合計	5,017	4,673
	支出合計	5,078	6,037
	収支	△ 61	△ 1,364
総収入		269,460	248,544
総支出		259,039	243,851
収支		10,421	4,693
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	B	市設定目標の107.4%
スポーツ教室開催数	A	市設定目標の125.0%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	光熱水費単価の値下がりによる光熱水費の減少を除けば2.9%の減少

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- ：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理			
市民の平等利用の確保	C	C	
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	B	B	施設職員全員の上級救命講習を受講修了 初級障がい者スポーツ指導員の資格取得
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	C	C	
施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	B	C	
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免 利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	C	
利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	B	B	パラスポーツ普及促進のためのボッチャ教室の開催
施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成	C	C	
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
①市民サービス向上のため、施設の特性を活かした魅力的な自主事業の実施をされたい。	H28年度	パラスポーツの普及・促進及び東京2020大会に向けたパラリンピックの機運醸成に寄与するスポーツ教室として「ボッチャ教室」を開催した。
②利用者ニーズを的確に把握することにより、引き続き施設利用者の増加に努められたい。	H28年度	ホームページや指定管理者で発行する広報誌「みんなのスポーツちば」等を媒体として広く利用者ニーズ把握に努めるとともに、集約した意見の反映・改善を適宜実施している。具体的には、子育て世代のニーズを捉えた託児サービス付のスポーツ教室の開催などを行っている。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設利用者に対し、アンケート用紙を配布
	回答者数	1回目:157件、2回目:140件
	質問項目	1回目:性別、年齢、居住地、交通手段、利用頻度、利用目的、スタッフの対応等 2回目:性別、年齢、居住地、交通手段、利用種目、利用頻度、スタッフの対応等
結果	1回目(平成29年10月1日(日)～平成29年10月31日(火))	<p>○回答者の属性</p> <p>【性別】男性:82%、女性18%</p> <p>【年齢】10代21%、20代20%、30代20%、40代17%、50代8%、60代以上13%</p> <p>【居住地】千葉市内82% 千葉市外18%</p> <p>【交通手段】徒歩24%、自転車22%、オートバイ6%、自動車33%、バス3%、電車13%</p> <p>【利用頻度】はじめて7%、月に3～4回8%、月に1～2回14%、週に1～2回48%、月に3～4回18%、週に5回以上4%</p> <p>【利用目的】健康維持のため42%、ダイエット14%、リハビリ4%、競技力・体力向上41%</p> <p>○施設の満足度</p> <p>【スタッフの対応】とても良い59%、まあ良い26%、普通15%、やや悪い0%、非常に悪い0%</p> <p>【施設の清潔感】とても良い34%、まあ良い34%、普通29%、やや悪い3%、非常に悪い1%</p> <p>【受付方法】とても良い46%、まあ良い35%、普通18%、やや悪い0%、非常に悪い0%</p> <p>【設備(トレーニング機器)の満足度】とても良い27%、まあ良い28%、普通32%、やや悪い10%、非常に悪い3%</p>
	2回目(平成30年3月1日(木)～平成30年3月30日(金))	<p>○回答者の属性</p> <p>【性別】男性61%、女性39%</p> <p>【年齢】10代26%、20代29%、30代24%、40代16%、50代4%、60代以上1%</p> <p>【居住地】千葉市内69% 千葉市外31%</p> <p>【交通手段】徒歩6%、自転車14%、オートバイ0%、自動車66%、バス3%、電車11%、</p> <p>【利用種目】フットサル42%、バスケットボール17%、バドミントン14%、新体操6%、車いすバスケットボール6%、バレーボール5%、ハンドボール3%、観覧1%、その他2%</p> <p>【利用頻度】はじめて11%、年に1回3%、6か月に1回5%、3か月に1回9%、月に1回38%、2週に1回16%、1週に1回8%、週に2回以上8%、その他2%</p> <p>○施設の満足度</p> <p>【スタッフの対応】とても良い50%、まあ良い31%、普通17%、やや悪い1%、非常に悪い0%</p> <p>【施設の清潔感】とても良い53%、まあ良い33%、普通14%、やや悪い1%、非常に悪い0%</p> <p>【受付方法】とても良い45%、まあ良い27%、普通28%、やや悪い0%、非常に悪い0%</p> <p>【施設全体の満足度】とても良い43%、まあ良い41%、普通16%、やや悪い0%、非常に悪い0%</p> <p>【貸出用具】満足している98%、不満がある2%(料金が高いなど)</p>

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
メインアリーナをもっと一般利用者に貸し出ししてほしい。	県内有数の大規模施設であり、施設の性質上国際大会、全国大会、コンサート等多種にわたる利用があるため、一般利用枠が少なくなっているため、ご理解いただきたい。
トレーニングマシンの不具合(エアロバイクの座席部分が緩くなっている)を早く直してもらいたい。	意見をもとに早急に修理を実施した。
バスケットゴールを片付けるときに器具庫の入り口におぶつかりそうでひやひやする。	器具庫入り口に余裕がないため、出し入れの際には必ず職員が付くようにし、安全に細心の注意を払っている。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	<p>通常の施設管理はもとより、昨年度に引き続き、本年度もナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点の指定を受け、パラスポーツ（車いすバスケットボール）での施設優先確保（年間57日）を実施した。また、地域貢献活動として市内の中学生を招いて、同男子日本代表チームとの交流会の実施に協力するなど、パラスポーツへの関心を更に高め、東京2020パラリンピック競技大会への機運醸成につながるような事業を実施した。</p>
----------	---	----	--

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<p>成果指標に係る数値目標の達成状況は、施設利用者数で103.3%、スポーツ教室開催数で100%となっており、一定の成果をあげていることが認められる。</p> <p>総合的には、管理運営の基準等に則した適切かつ安定した管理運営に加えパラスポーツの普及活動など千葉市の施策に則った事業実施に努めており、市が指定管理者に求める水準等に即した、良好な管理運営が行われていたと認められる。</p>
----------	---	----	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

ア 市の作成した年度評価案の妥当性について
市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。

イ 管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について
(ア) 施設利用者数の増加に引き続き努められたい。
(イ) 指定管理者の財務状況においては、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、増収増益で、一般正味財産が増加するなど、財務状況は良好であり、倒産・撤退のリスクはないと判断される。